

一般財団法人ASICS Foundation設立に向けた想い ～第71回（2024年度）定時株主総会 第7号議案に関する補足資料～

2025年3月3日

株式会社アシックス（証券コード7936）

創業哲学「健全な身体に健全な精神があれかし」

ANIMA SANA IN CORPORE SANO

Sound Mind, Sound Body

ASICSは、戦後の日本で希望を失った子ども達が、スポーツを通じて心身ともに健康に成長すること(青少年の健全な育成)を願い創業した

VISION2030: 誰もが一生涯、運動・スポーツに関わり、心と体が健康で居続けられる世界の実現に向けて



財団の概要



ASICS Foundation Sports x Global

■財団の目的:

運動・スポーツに関わる社会課題に取り組み、より多くの人々の心身の健康に貢献

名称	一般財団法人 ASICS Foundation
理事長 (代表理事)	常務執行役員 甲田 知子 (管掌：マーケティング、スポーツマーケティング、パラスポーツ企画)
設立年月	2025年4月（予定）
活動内容	グローバルで、社会的または経済的困難な状況にある青少年、障がい者、女性等へ、運動・スポーツを通じた支援を提供する団体への助成

一般財団法人ASICS Foundation設立に向けた想い



1. 財団設立は、アシックスにとっての夢・使命であり、存在意義そのものです
今後アシックスは、寄付活動を財団を通じて行う方針です
2. 24年7月に株式の売り出しと同時に財団設立についても公表しております
財団への自己株式割り当てスキームも開示した上で、機関投資家を中心とした多くの株主と対話を積み重ねてきました
3. 多くの株主（100社超の機関投資家を含む）との対話の結果、以下対応を講じております
 - ①希薄化への対応
財団への自己株式割り当てを1%未満とし、24年3月・8月（計2.4%*）及び25年2月（実行中、最大0.98%*）に自己株式を取得すると共に、将来の株式希薄化懸念緩和となる消却も実施済(2,500万株、3.29%**)
 - ②議決権不行使スキームの適用
いわゆる安定株主作り・買収防衛策には当たりません。
 - ③企業価値を創出できることの明示
4. 丁寧な対話により、大口投資家を含め多くの株主からご理解いただいております

*総議決権個数に対する割合、**消却前の発行済株式総数に対する割合

© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

一般財団法人ASICS Foundation設立に向けた想い



2024年7月

1 政策保有株式全売却・アシックス株式売り出しの公表

- アシックスの政策保有株式全売却
- 他社が保有していたアシックス株式の売り出し

2 財団設立検討の公表 (自己株式割り当てスキームを含む)



上記公表を踏まえた
アシックス株式の保有判断
(新規購入・買い増し・継続保有)

株主との対話結果を踏まえた決定

1 株式希薄化の影響を最大限軽減

- 財団への自己株式割り当て規模を1%未満とした
- 2024年3月・8月(2.4%*)及び2025年2月(実行中、最大0.98%*)に自己株式取得を公表・実行
- 2025年2月28日に将来の株式希薄化懸念緩和を目的に、2,500万株(3.29%***)の自己株式消却を実行

2 安定株主作りや買収防衛策への懸念の払拭

- 今回割り当てる自己株式の議決権は不行使とするスキームを適用

3 財団活動がアシックスの企業価値創出に繋がる活動であることの丁寧な説明

現在

多くの株主からの
ご理解いただいている

*総議決権個数に対する割合、**消却前の発行済株式総数に対する割合

財団活動の展開

✓ 受益者のターゲットである障がい者・青少年・女性に対してソフト/ハードの支援が行き渡るようにする。

ターゲット	障がい者	青少年	女性
フォーカス地域	日本	日本・インド・インドネシア・ベトナム	インド・インドネシア・ベトナム
ソフトインフラの整備	- 障がい者スポーツの審判や指導者の育成 - ユニバーサルスポーツの普及活動	- スポーツ大会の開催 - コーチ育成のためのトレーニングプログラム実施	- ジェンダーインクルーシブなスポーツコンテンツの開発 - スポーツを通じた女性啓発のカンファレンス開催
ハードインフラの整備	学校や公園のグラウンド整備・スポーツ用品の提供		
インパクト例	100% 日本の特別支援学校・学級の青少年にスポーツ機会を提供	2人に1人 特定の州（例：インドネシアジャカルタ州）の青少年にスポーツ機会を提供	10人に1人 女兒の早期結婚や教育の欠如を抱える州（例：インド ビハール州）の女兒にスポーツ機会を提供

財団による企業価値向上への貢献

✓ アシックスの価値創造を社会的価値の視点から財団が補強することで、企業価値向上に貢献する。

社会価値

スポーツへの アクセシビリティ向上

1. 受益者の社会課題に対するレジリエンス向上
2. スポーツ人口の増加
3. スポーツの価値の向上

X

創業哲学の実現

補強
①

「誰もが一生涯運動スポーツに関わり心と身体が健康で居続けられる世界」の実現に向けて、**収益強化の事業戦略ではリーチできない、経済的・社会的にチャレンジを抱える方々のスポーツ機会向上**を支援

補強
②

新たなブランド価値の提供

本財団活動の発信を通じて、お客様や従業員等のステークホルダーによる**ブランド・スローガン“Sound Mind, Sound Body”の更なる体験を可能とする**

企業価値

ブラン
ド
価値

- 創業哲学の実現を通じたブランド価値向上
- 活動発信によるブランドへの共感創出を通じたブランドプレファレンス向上
- 行政やスポーツコミュニティとのネットワーク構築

市場
成長

- 活動地域におけるスポーツ文化の醸成を通じたスポーツ市場の成長（将来の市場形成）

人的
資本

- 本財団活動が従業員によるアシックスグループへの共感の創出につながることで、競争力のある人財の獲得・保持及びエンゲージメント向上を実現

財団による株主価値創出

- ✓ 財団活動を通して、スポーツへのアクセシビリティが向上し、スポーツ文化醸成とスポーツ人口増加につながる。
- ✓ 財団本格稼働5年後には、アシックスの顧客が約450万人増加、約2,000億円の株主価値創出につながる見込み。

財団活動による企業価値創出

- スポーツへのアクセシビリティ向上
- スポーツ文化醸成
- スポーツの習慣化、スポーツコミュニティの形成

(ランニングは習慣化する傾向とコミュニティを通して比較的容易に波及する特性がある)

財団本格稼働 5 年後の 推定株主価値貢献

顧客増加数
約450万人

株主価値創出
約2,000億円

財団の活動

- 指導者の育成
- スポーツインフラ、施設の整備
- 大会開催支援
- スポーツ用品の提供 等

インパクト

- スポーツ文化醸成によるスポーツ市場成長
- ブランド価値向上
 - 財団活動を通じて創業哲学の更なる実現へ
 - 財団活動ターゲット以外の国のステークホルダーとコラボレーションした施策の展開



© 2024 ASICS Corporation. All rights reserved.

財団活動を起点とする株主価値創出額簡易試算（本格稼働5年後）

試算前提

- ランニングは一度始めると習慣化する傾向が強い
- ランニングはコミュニティスポーツであり、ランナー周辺の人々への波及効果が強い
- 当面の活動エリアであるインド、インドネシア、ベトナムでのアシックスのシェアを25%と仮定
- 2026年以降、アシックスの配当を毎年1株当たり2円増加（中計2026に掲げる累進配当を実施）
- 財団は配当収入の全てをアシックスのランニングシューズの寄付に充当

株主価値
2,000 億円

PER
40 倍
※2025年1月末時点のPER

税後純利益
約 **50** 億円

財団活動を起点にランニングを
習慣化した累積ランナー数

約 **1,800** 万人

アシックスシェア

25%

アシックスの顧客数

約 **450** 万人

シューズ単価

1 万円

営業利益率

15%

営業利益

約 **70** 億円



Y1



Y2



Y3



一般財団法人の設立について

企業と財団の両方があることで、
もっと多くの人に心と身体の健康を届けられる

ASICS の新しい価値創造の仕組みを
皆さんと一緒に実現したい



EoF



DISCLAIMER 将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通し等のみに全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、様々な競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。